

# 唐津市の企業がインドネシアの軟弱地盤に挑む！

## ～唐津市の株式会社ワイビーエム、JICAと委託契約を締結～

国際協力機構(JICA)は12月3日、株式会社ワイビーエム(佐賀県唐津市、吉田力雄代表取締役社長)が実施する『「中層混合処理工法」による地盤改良効果の普及・実証事業』(インドネシア国)にかかる業務委託契約を締結しました。

経済発展と災害防止には、迅速かつ安全なインフラ整備が不可欠ですが、インドネシアには多くの軟弱地盤があり、道路・物流網の整備が遅れています。また、軟弱地盤を改良するための、地盤改良に関する情報、技術、人材が不足しており、適切な対策が行われていない状況です。

本事業は、軟弱地盤ゆえに生じるインフラの地盤沈下の防止、軟弱地盤地域における地震被害の抑制に貢献すべく、インドネシア国内では施工事例のない、新たな地盤改良工法「中層混合処理工法」の導入と、同工法を高品質かつ適切に施工可能な提案製品の市場創出を目的としています。「中層混合処理工法」は、現在インドネシアで行われている「バーチカルドレーン工法」よりも確実な地盤改良効果が得られ、工事期間が短くなるのが特長です。また、地震災害による液状化対策にも有用な工法です。



← 活用予定の同社の製品

↓ 「バーチカルドレーン工法」と「中層混合処理工法」の違い



※「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」は、我が国の中小企業などの製品・技術が途上国の開発に有効であることを実証するとともに、現地での適合性を高め、普及を図ることを目的とするものです。 [https://www.jica.go.jp/press/2017/20170620\\_01.html](https://www.jica.go.jp/press/2017/20170620_01.html)

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA九州センター 市民参加協力課 担当：大園、山下  
 TEL：093-671-8204 E-mail：Ozono.Momomi@jica.go.jp